

書き損じハガキが子どもたちの学校に変わる！

## 「杉並区民の手でネパールに学校を！」キャンペーン実施！

区内に拠点を置く NPO 法人チャイルド・ファンド・ジャパン（住所：善福寺 2 - 17 - 5、理事長：深町正信）が、ネパールに学校を建設するため、昨年 12 月から今年 2 月末日まで、広く杉並区民に協力を呼びかけ、書き損じハガキなど 15,000 枚の回収を目指し、活動しています。「杉並区民の手でネパールに学校を！」と題したこのキャンペーンは、今年で 4 回目を迎え、3 年間で 3 棟の小学校を建設してきました。

「杉並区民の手でネパールに学校を！」は、NPO 法人チャイルド・ファンド・ジャパンが平成 22 年度から行っているキャンペーンで、今年で 4 回目を迎えます。このキャンペーンは、多くの家庭で眠ったままの状態になっている書き損じハガキや、未使用の年賀状などの寄付を受け、学校建設の費用に充てるものです。

学校建設予定地は、ネパールの首都カトマンズから東へ約 80 キロに位置する山間地、ラメチャップ郡です。ネパールの初等教育の就学率は改善傾向にありますが、次の学年への進級や初等教育修了を果たせず、退学してしまう子どもが後を絶ちません。特に山間部においては、子どもが家事等の貴重な労働力であるため、離れた場所にある学校に通えなくなったり、電気もなく、風雨を凌ぐのもやっとの老朽化した校舎で学習しなければならないなど厳しい環境下に置かれています。

そこで、同団体は、多くの区民に少しずつ協力していただき、通いやすく学習しやすい学校を建設しようと、このキャンペーンを企画しました。建設地の条件にもよりますが、1 校あたり、およそ 60 ～ 80 万円位の建設費用がかかります。

キャンペーンを始めた 22 年度は約 160 万円、23 年度は約 80 万円相当が集まりました。昨年度も、約 60 万円相当にあたる約 9,400 枚の書き損じハガキと約 20 万円相当の未使用切手が集まりましたが、年々その数は減少傾向にあります。

これまで 3 年間の間に、3 棟の小学校を建てることができましたが、今もまだ子どもたちの学習環境は十分確保されているとは言えず、継続的な支援が必要です。同団体では、今年度もキャンペーンを行い、区民を中心に広く呼びかけを行いながら、目標である 15,000 枚のハガキを集めることにしています。

書き損じハガキが子どもたちの未来を開きます。区外の方からもお受けしますので、ぜひご協力ください！



### 「杉並区民の手でネパールに学校を！」キャンペーン第 4 弾

【主催】NPO 法人チャイルド・ファンド・ジャパン

【後援】杉並区、杉並区教育委員会、杉並区交流協会、ネパール大使館、JICA（国際協力機構）

【期間】平成 25 年 12 月 1 日～平成 26 年 2 月 28 日

【集めているもの】未使用（書き損じ）の年賀状ハガキ、未使用の切手

【送付先】〒167-0041 杉並区善福寺 2 - 17 - 5 すぎなみ係

NPO 法人チャイルド・ファンド・ジャパン……戦後、戦災孤児らの支援を行う社会福祉法人として誕生。1975 年から、アジアの子どもたちの教育支援を行う。主な活動として「スポンサーシップ・プログラム」という里親制度に取り組み、フィリピン、スリランカ、ネパールの子どもの成長や生活改善を支援。

[報道機関 問い合わせ先]

NPO 法人チャイルド・ファンド・ジャパン（担当：福田） TEL：3399-8123

総務部広報課 TEL：3312-2111